

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

## □ 宮崎県第20週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 878 人（定点あたり 25.0）で、前週比 97%と横ばいであった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

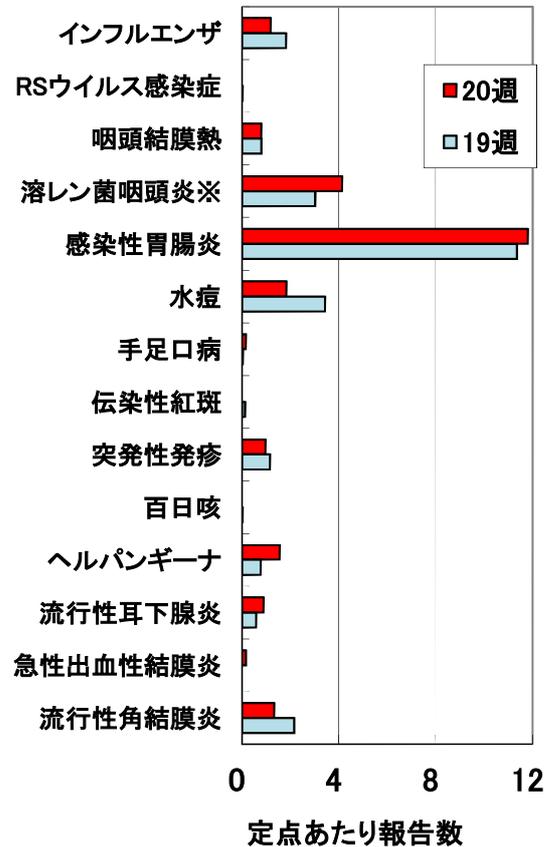
#### 【ヘルパンギーナ】

・報告数は 56 人（1.6）で前週比 200%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（0.99）の約 1.6 倍である。高鍋（4.5）、中央（3.0）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約8割を占めた。

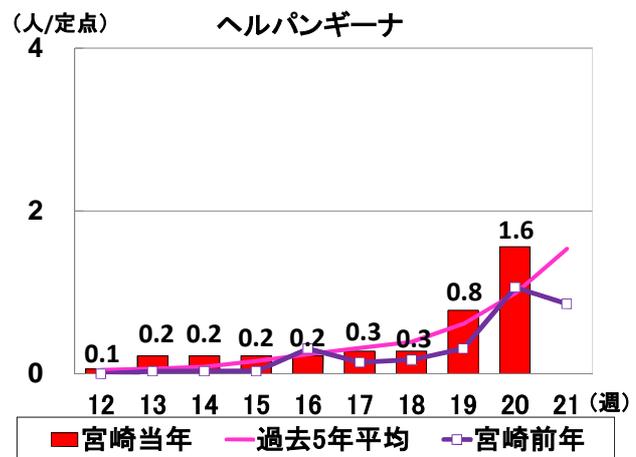
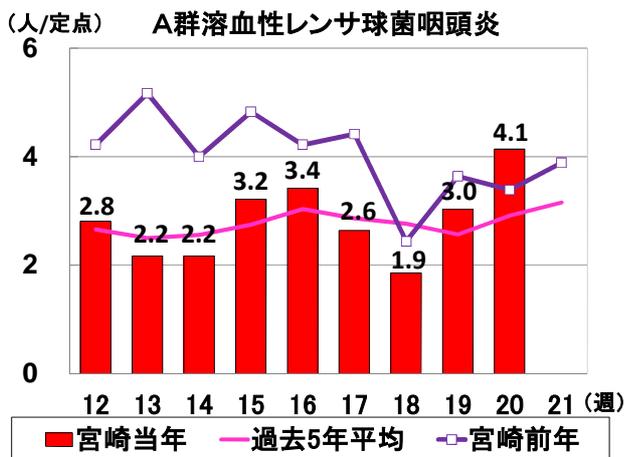
#### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は 149 人（4.1）で前週比 137%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（2.9）の約 1.4 倍である。延岡（14.3）、中央（6.0）保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から5歳で全体の約6割を占めた。

## 《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



### ★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡（1人）保健所から報告された。患者は2歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae*。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭結膜熱(3.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(14.3)
日南	咽頭結膜熱(4.0)、感染性胃腸炎(26.7)
小林	感染性胃腸炎(22.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報開始基準値：咽頭結膜熱(3.0)  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)  
感染性胃腸炎(20.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 5 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状	その他
2類	結核	宮崎市	50 歳代	無症状病原体保有者	—	—
			70 歳代	疑似症患者	発熱、呼吸困難	—
			70 歳代	無症状病原体保有者	—	—
			80 歳代	その他の結核（腸結核）	下血	—
		都城	70 歳代	疑似症患者	咳、痰	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	3 歳	無症状病原体保有者	—	0157 (VT2産生)
			11 歳	—	腹痛、血便	0157 (VT2産生)
			30 歳代	無症状病原体保有者	—	0157 (VT2産生) 026 (VT1産生)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	80 歳代	—	発熱、頭痛、 刺し口、発しん	ダニ咬傷

■ 病原体検出情報(平成 24 年 5 月 22 日までに検出 衛生環境研究所微生物部)

□ ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
インフルエンザB型	7	男	4.9	B型インフルエンザ(昨シーズンもB型罹患)、39.7℃、上気道炎、嘔気・嘔吐	鼻汁	5.11
インフルエンザB型 ※	6	男	4.14	B型インフルエンザ、38.7℃	鼻汁	5.8
インフルエンザB型	10	男	4.14	B型インフルエンザ、38.7℃	咽頭ぬぐい液	5.11
ライノウイルス	4M	男	4.28	気管支炎、下気道炎(気管支炎)、咳嗽、発熱	咽頭ぬぐい液	5.9

※リアルタイムRT-PCR法により検出

□細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Saintpaul (O4:e,h:1,2)	0~4	男	2012.5.2	下痢、血便、食欲低下、倦怠感	便	2012.5.10
<i>Bacillus cereus</i> セレウリド(+)	80代後半	女	2012.4.19	肺炎	血液	2012.5.14
<i>Bacillus cereus</i> セレウリド(+)	80代後半	女	2012.4.20	肺炎	血液	2012.5.14
<i>Salmonella</i> O4群血清型不明	5~9	男	2012.5.9		便	2012.5.18
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	5~9	男	2012.5.10		便	2012.5.18
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2 eae+)	10代前半	男	2012.5.14	下痢、血便、腹痛	便	2012.5.16
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	5~9	女	2012.5.11		便	2012.5.18
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1,2)	50代後半	男	2012.5.14		便	2012.5.22
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0~4	男	2012.5.14		便	2012.5.22

○下痢、血便、腹痛を呈した10代の男性から、血清型O157の腸管出血性大腸菌(EHEC)が分離された。O157が産生するペロ毒素(Verotoxin; VT)は大半がVT2のみ、もしくはVT1/VT2両方を産生する株である。一般にVT2はVT1よりも毒性が強いとされているため、VT2が検出された場合は重篤な病態への転帰に注意する必要がある。

■ 全国第19週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は16.1で、前週比146%と増加した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

咽頭結膜熱の報告数は1,222人(0.39)で、前週比205%と増加した。佐賀県(1.2)、鹿児島県(1.1)、宮崎県(0.81)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から4歳が全体の約8割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は6,563人(2.1)で、前週比189%と増加した。富山県(4.1)、大分県(3.8)、鳥取県(3.5)からの報告が多く、年齢別では4歳から7歳で全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は24,664人(7.8)で、前週比150%と増加した。福井県(14.5)、島根県(13.5)、香川県(13.4)からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	384例				
3類感染症	細菌性赤痢	8例	腸管出血性大腸菌感染症	23例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	6例	つつが虫病	13例
	デング熱	1例	日本紅斑熱	2例	マラリア	1例
5類感染症	レジオネラ症	15例				
	アメーバ赤痢	8例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	12例
	ジアルジア症	1例	梅毒	15例	風しん	10例
	麻しん	4例				

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第20週(05月14日～05月20日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	108	70	18	23	8	9	3	4	3	2	
	定点あたり	1.83	1.19	1.13	2.30	1.14	1.80	0.60	0.67	1.50	0.33	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	29	29		1	12	12				2	2
	定点あたり	0.81	0.81	0.00	0.17	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	109	149	19	22	57	15	1	16		13	6
	定点あたり	3.03	4.14	1.90	3.67	14.25	5.00	0.33	4.00	0.00	3.25	6.00
感染性胃腸炎	報告数	409	425	84	79	37	80	67	27	7	38	6
	定点あたり	11.36	11.81	8.40	13.17	9.25	26.67	22.33	6.75	7.00	9.50	6.00
水痘	報告数	124	66	22	7	5	10	4	8	1	8	1
	定点あたり	3.44	1.83	2.20	1.17	1.25	3.33	1.33	2.00	1.00	2.00	1.00
手足口病	報告数	2	6	5			1					
	定点あたり	0.06	0.17	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	5										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	42	35	12	7	5	4	3	2		2	
	定点あたり	1.17	0.97	1.20	1.17	1.25	1.33	1.00	0.50	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	28	56	11	5	3		8	18		8	3
	定点あたり	0.78	1.56	1.10	0.83	0.75	0.00	2.67	4.50	0.00	2.00	3.00
流行性耳下腺炎	報告数	21	32	6	11		2		9	1	1	2
	定点あたり	0.58	0.89	0.60	1.83	0.00	0.67	0.00	2.25	1.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	8	7	1							
	定点あたり	2.17	1.33	2.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～20週)

2類感染症	結核	88例(5)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(3)			
4類感染症	つつが虫病	12例	デング熱	1例	日本紅斑熱
	レジオネラ症	2例			3例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	1例	6例

( )内は今週届出分、再掲